1.1 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業／新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業／
地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業

②農業生産と発電を両立する垂直型太陽光パネルを活用し、エネルギーコストの削減に成功

事業者名非公開（飲料・たばこ・飼料製造業）

【HP】非公開　【備考】ー

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業 ／新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業
補助事業の概要	① 建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業 ② **地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業** ③ 窓、壁等と一体となった太陽光発電の導入加速化支援事業 ④ オフサイトからの自営線による再エネ調達促進事業
実施目的	地域の再エネポテンシャルを有効活用するため、地域との共生を前提とした上で、 新たな手法による太陽光発電の導入・価格低減を促進する
交付対象	**民間事業者・団体等**
補助率	① 1/3（補助上限額：1億円） ② **1/2（補助上限額：1億5,000万円）** ③ 窓と一体となった太陽光発電設備：3/5（補助上限額：5,000万円） 壁等と一体となった太陽光発電設備：1/2（補助上限額：3,000万円） ④ 1/2（補助上限額：1億円）

②農業生産と発電を両立する垂直型太陽光パネルを活用し、エネルギーコストの削減に成功

事業の概要

補助金額	補助金額	約6,250万円
	補助率	1/2
導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	太陽光発電システム （垂直型太陽光パネル）
事業期間	稼働日	2025年1月
備考	導入台数	垂直型太陽光発電　1式



垂直型太陽光パネル

事業の効果

エネルギーコスト
▲約770（万円／年）

投資回収年数
16.2（年）→ **8.1**（年）

CO_2削減効果
約185（t-CO_2／年）

CO_2削減コスト
2.0（万円／t-CO_2）

副次的効果

- 垂直型パネルのコストが高く、一般の農家では導入が難しいことから、地域においてモデルとなるような事業を実施。
- 電気代を削減し、製造コストを低減させたことで販売増加へ貢献。

事業者の声



森本 和博｜**業務管理課　次長**

当工場では冷凍機などにより電気を多く消費する為、太陽光発電の導入を検討しました。
太陽発電設置後も農業を継続できるように、垂直型のパネルを採用しています。
また、雪の多い地域なので垂直型パネルであれば雪が溜まらず、冬場も発電量を確保できています。